



だれもが「大丈夫」と思える政治を

浅見みどり通信

日本共産党東村山市市議会議員 2期目始動 NO. 56

Japanese Communist Party
Higashimurayama City council member **Asami Midori**

ホームページ <https://asami.jcp-hihigasimurayama.net>

日本共産党



「まだ案なのに騒ぐな」にだまされない 学校の統廃合やめて



学校の統廃合について、不安の声を頂くことが増えています。

6月議会で初めて市長が統廃合に言及

市長は、施政方針説明で「心豊かな学びの場」を掲げました。その中で、①公共施設再生としての学校複合化、②学校、公共施設の具体的な建て替えや統廃合を打ち出しました。学校統廃合という言葉避けているものの、中身は統廃合そのもの。12月議会では、計画の具体化が進んでいることが市長の所信表明で明らかに。

コストカットより少人数学級で手厚い教育を

22校の小中学校を14校へ減らそうという計画は、効率的運営という名のコストカットです。「心豊かな学びの場」と言うのであれば、少人数学級を実現し、教員を増やし、子ども達に温かい居場所を確保するための予算増額や、給食費無償化に本気で取り組んでほしいです。

統廃合は案だから？先のことだから？

市は、2030年度までに第一中学校・富士見小学校・南台小学校を1か所にする統廃合計画の具体化を着々と進めています。世論を広げていくことが大切です。

「学校の統廃合」の問題を考える会 結成 「学校統廃合計画」を一旦白紙に戻し、子ども達・市民の



意見をよく聞いて再生計画を進めることを東村山市市長に求める署名がスタートしています。子ども第一の学校をつくるために、一緒に声をあげましょう。

オンライン署名はこちら

学校統廃合についての資料は？(※11/31時点)

東村山市のホームページ

→ 市政情報

→ 主な施策・計画・取り組み

→ 公共施設マネジメント・スマートシティ

→ 公共施設再生

→ 【終了】新しい学校はどうなる？

公共施設再生に関わるシンポジウム

→ 当日投影スライド



市民が探すのは大変！
情報にたどりつけない
ことも問題!!

これまでの流れ

2021年

公共施設再生計画・
施設再生ケーススタディブック

2022年

公共施設ディスカッションペーパー・
新しい学校には何があったらいい？

2023年

6月2日 総合教育会議

将来的に適正な学校数14校が提示

6月8日 市議会定例会

市長は具体的な学校名は答弁せず
(施政方針説明)

6月17日

シンポジウム「新しい学校はどうなる？」

はじめて22校を14校へ

具体的な学校名(案)が提示される

困った時は共産党に相談しよう

市役所、ほっとシティ等に同行します

生活保護は権利

年金、仕事がある方、自宅に住んでいる方でも生活保護は申請できます。
扶養照会は義務ではありません。

電話 080(3086)2422

メール

kwiiykchan@tbz.t-com.ne.jp